

FORUM FOR EXECUTIVE & MANAGEMENT

昭和45年5月16日第3種郵便物認可 第49巻第9号通巻578号
平成29年10月1日発行(毎月1回1日発行)

財界につぼん

創刊49周年

2017 11



表紙の人 小松昭夫小松電機産業代表取締役・人間自然科学研究所理事長

特別企画 企業探訪／小松電機産業・人間自然科学研究所の軌跡とポリシー

特別寄稿／無能と嘘で国家信用を破壊した自公体制の罪と罰

社会問題を経営資源に進化する 小松電機産業株式会社・人間自然科学研究所

勤務先の倒産を契機に、1973年2月、小松昭夫氏(現・代表取締役)が28歳の時、弟・光雄氏(現・常務取締役)と2人の就職支度金30万円を元手に、20万円を工具箱、中古小型トラックの購入と、仕事場にするため自宅納屋の改装にあて、残った10万円と共同磁石式置型電話1台でポンプ修理、電装品組立業からスタートした。秋には第1次オイルショック。限りなく脆弱で、波乱に満ちた創業となった。

工事業界ぐるみの過酷なはじめに遭い、業種転換。1981年、社は「社業を通じて社会に喜びの輪を広げよう」を定め、後に経営理念「おもしろ、おかしく、たのしく、ゆかいに」、行動指針「三方よし、後利」を追加し、今日の流れを生み出した。

を学び、時代の流れを読み、棚上げした問題を組合せ、順序を踏んで、情報技術の進化による価値観の変化の流れを捉え、仕掛けて待つことで問題を活かし大きな価値を生み出すことができる(革命)。ヨーゼフ・シュンペーターが100年前に提唱したイノベーション(新結合)が重要な意味を持つてくると小松社長。

2000年沖縄サミットで発表されたe-Japan構想を機に、出雲市から全国展開が始まった。クラウド・IOTの先駆け、広域クロスオーバー管理を目指し、オープン言語RUBYで構築された水の総合管理システム「やくも水神」は、460自治体、1万施設で使われ、全国・世界へ本格的に羽ばたく日が近づいている。

「社会問題が経営資源。経営とは問題を①すぐ解決できるもの(改善)②解決できるが諸般の情勢を考え今は置いておき、短いスパンで解決するもの(改革)③解決を諦め、棚上げするもの、の3つに分け、人類の特性と地政学(歴史)

ゆる水の情報管理制御システム、そして平和事業の3事業を展開している。

同社・研究所は、「happy gate 門番」を核にした各種製造サービスの環境革命と、あらゆる水の情報管理制御システム、

2010年、野村総研主催「NRI未来創発フォーラム」、2013年、国交省による先進事例として紹介された。また2016年「ドコモ・クラウド基盤」の導入を契機に、テレビ会議システムと3台の高機能プロジェクトを組合わせた遠隔緊急対策本部の立ち上げ、システムの多拠点化を目指している。これらの推移はドコモ法人向けサイトでも二度にわたり紹介されている。



2013年「平和宮100周年」式典前夜祭(オランダ・ハーグ)。右から小松昭夫社長、2人目カーネギー曾孫



2013年「世界の平和フィランソピスト(事業家)20人」展(ハーグ)。右から磯江公博氏、2人目小松社長



2014年「ヘルタ・フォン・ズットナー女史没後100周年記念式典」(オーストリア・ウィーン)で講演する小松社長

島根県八雲村(現・松江市八雲町)で生まれた水の情報事業は、世界で初めて携帯電話にインターネット機能がついたNTTドコモ・iモードの発売と

平和事業(人間自然科学研究所)は、事業が生まれた日本国・出雲の人類史における現代の地政学的使命を感じ、「対立の文化から共

特別企画・企業探訪

生の文化へ」をキーワードに、周辺諸国及び現代史において災難を与えたアジアの国々、関係諸国との信頼関係のプラットフォーム構築に努めてきている。北東アジアは、核・ミサイル・原子力発電所を始め、竹島・独島、慰安婦、強制労働、日本海・東海呼称等の問題が重なり「究極の抑制された対立」が続いているが、小松社長は「平和事業はこの対立のエネルギーを活かした究極のイノベーション」と定義している。歴史を受け止め、共感のプラットフォームを創り、対立・統合・発展サイクルの持続が「真の和の創造」であり、その入口は「和譲※1」であるという。

環境事業では、世界で初めてマーカー創造した累積出荷台数16万台の高速シートシャッターで工場・商業施設の空間価値をプロデュースしており、同製品のブランド名になっている「happy gate 門番」に同社の経営理念が伺える。

1991年中小企業研究センター賞、ニュービジネス大賞、1995年科学技術庁注目発明選定証、2007年国土交通大臣賞、2012年経済産業省ものづくり日本大賞優秀賞、その他国内外で数々の賞を受け、2012年藍綬褒章を受けている。

0から起業、ここまで来られた要因として、著名企業の門番カタログコピー事件を契機とした1986年の大手シャッターメーカーとのOEM提携、10年後の一方的解約。市場創造者という立場から、一般社団法人日本シャッター・ドア協会要請による新設シートシャッター委員会初代委員長(10年間)就任で、構造基準・安全基準・保守点検基準の策定、エコマーク取得等があった。

「やくも水神」「happy gate 門番」の市場創造先行者利益の一部を活かし、25年にわたる平和事業創造のプラットフォーム構築の準備をしてきた小松社長は、「核の拡散とスマートフォンの爆発的普及、そして一国ではどの国も生きることができないグローバル時代を迎え、人類史的転換点における敗戦国・加害側で三大核大国の中華人民共和国(中国)、ロシア連邦(露国)、アメリカ合衆国(米国)の勢力が均衡する朝鮮半島の対岸に位置する島国日本の日本人・日本企業の役割は、CSR(社会的責任)からCSV(共有価値創造)、そしてCSX(人類の究極の価値創造・小松社長提唱)の時代にいった。今日、朝鮮半島と日本列島にかつてないほど世界の目が集まっている。日本は大韓民国

(韓国)・朝鮮民主主義人民共和国(共和国)と共に中国、露国、米国と念(おも)いを合わせ、民間人が究極のミッション(使命)に立ち上げられる最高の時(天の時・地の利・人の和)を迎えている」と言う。

2013年、小松社長が「100年間の世界の平和事業家20人」に選ばれたこともあり、共和国のミサイル・核問題、中国・習近平主席の「一带一路」構想などを背景に、小松電機産業の3つの事業がクローズアップされている。

「何か、とんでもない会社に勤めている気がしてきました」。ベテラン社員の一人がふともらしたこんな言葉が、小松電機産業の今を物語っている。

※1「和譲」は聖徳太子の「和をもって貴しとなす」の「和」、二宮尊徳翁の「推譲」の「譲」を組み合わせ、熊野大社前宮司・出雲大社教前管長・千家達彦氏がおつくりになった造語。ジョセフ・ナイ・ハーバード大学教授のソフトパワー概念発表を契機に、小松昭夫社長がお許しを得て意味付けをした。

3つのソフトパワー(感情を加味した知恵、使命、会話力)と、2つのハードパワー(集団組織力、道理を実現するための方便)から全体の文脈の中で生まれる力。

クラウドの先駆け 総合水管理システム

水のICTであなたの街 日本 世界が変わる

高い防虫性能が創りだすクリーンな環境 省エネ・衛生管理に

マジックオプトロン 門番

東京築地・豊洲新市場に大量採用

1980年発売以来

160,000台達成

2017年8月現在

市場創造メーカーの責任

30年前の部品も安定供給

【共同企画】 IKARI イカリ消毒株式会社 大成ファインケミカル株式会社 小松電機産業株式会社

クラウドの先駆け 総合水管理システム

水のICTであなたの街 日本 世界が変わる

高い防虫性能が創りだすクリーンな環境 省エネ・衛生管理に

マジックオプトロン 門番

東京築地・豊洲新市場に大量採用

1980年発売以来

160,000台達成

2017年8月現在

市場創造メーカーの責任

30年前の部品も安定供給

【共同企画】 IKARI イカリ消毒株式会社 大成ファインケミカル株式会社 小松電機産業株式会社

小松電機産業株式会社 <http://www.komatsuelec.co.jp>

人間自然科学研究所 <http://www.hns.gr.jp>

松江市乃木福富町 735-188 湖南テクノパーク内
TEL 050-3161-2490
東京・大阪・仙台・松江・ソウル・バンコク

「対立の文化」から 「共生の文化」へ

一般財団法人 人間自然科学研究所 理事長
小松電機産業株式会社 代表取締役 小松 昭夫

1998年以来たびたび訪れている、中国人民抗日戦争紀念館で開催される「中国全民族抗戦勃発80周年紀念&国際二戦博物館館長フォーラム」にご招待いただき、ありがとうございます。

世界は国家間のせめぎ合いと地域格差、情報・物流革命と地球温暖化による気候変動、核拡散等が複雑に絡まり、歴史的大変動期に突入していると思われまます。このため、既存の枠組みが流動化、朝鮮半島、日本列島、沖縄諸島、台湾諸島、北方四島は、産業革命以降の地政学的背景から生まれた諸問題に、朝鮮民主主義人民共和国(共和国)の度々の核・ミサイル実験が重なり、抑制された究極の対立状態に陥っています。今こそ、我々の智慧と勇気が試されています。1895年に来日された孫文先生の念(おも)いを現代によみがえらせ、朝鮮半島と日本列島から「究極の対立の文明から共生の

文化」を生み出す好機と捉えることもできます。

1937年7月7日の盧溝橋事件から80年、大きな災難を与えた加害国・敗戦国日本の子孫として、中国人民に心からの謝罪と周恩来総理の未来を見据えた戦後の対応に深く感謝申し上げます。

人間自然科学研究所は、1997年から世界の戦争・平和記念館を訪問、学習・献花・寄付を行うなどの活動を通じて、紛争・戦争に至る背景と経緯と実態を研究、「戦前責任」「戦中責任」「戦後責任」の3つに分けて考察してきました。

今のままでは、日本、大韓民国(韓国)、共和国、そしてアメリカ合衆国(米国)・ロシア連邦(露国)・中華人民共和国(中国)の3大核大国の指導者は勿論、国民一人ひとりが、人類史における究極の「戦前責任」を問われる立場になります。

周恩来総理の「前事を忘れず後事の師とす」、江沢民主席の「歴史を

鑑とし未来を拓く」という言葉をよみがえらせ、長い時間軸で理想世界を実現するストーリーを描くべきときが来たと認識しています。

4万8千年前、アフリカを出た人類の祖先は、中国・朝鮮半島から九州、台湾から琉球列島、シベリアから北海道という3つのルートで日本列島に到達したと言われています。暖流に挟まれ南北に長い日本列島に到達した人々は、豊かな自然の恵みを享受する一方、地震津波・台風・噴火など自然大災害を受け、島国独特の文化が生まれ、その後諸外国の影響を受け現在に至っています。

人類は、火の利用、言葉の発明、分業により進歩。火は火薬、ダイナマイトを経て、究極の火・核に。言葉は文字、印刷術を経て、クラウドとスマートフォンに。また通信・人工知能の驚異的進化は止まるところを知りません。分業は、国際分業が機能しなければ、どの国も成り立たない時代になっています。

産業革命はユーラシア大陸西端の島国・イギリスから始まりました。「平和の事業化」、人類進化のための新しい文化は、大陸東端の島国・日本の、縁結びの地と言われる「八雲立つ出雲」で生まれました。これが中国北京に伝わり、

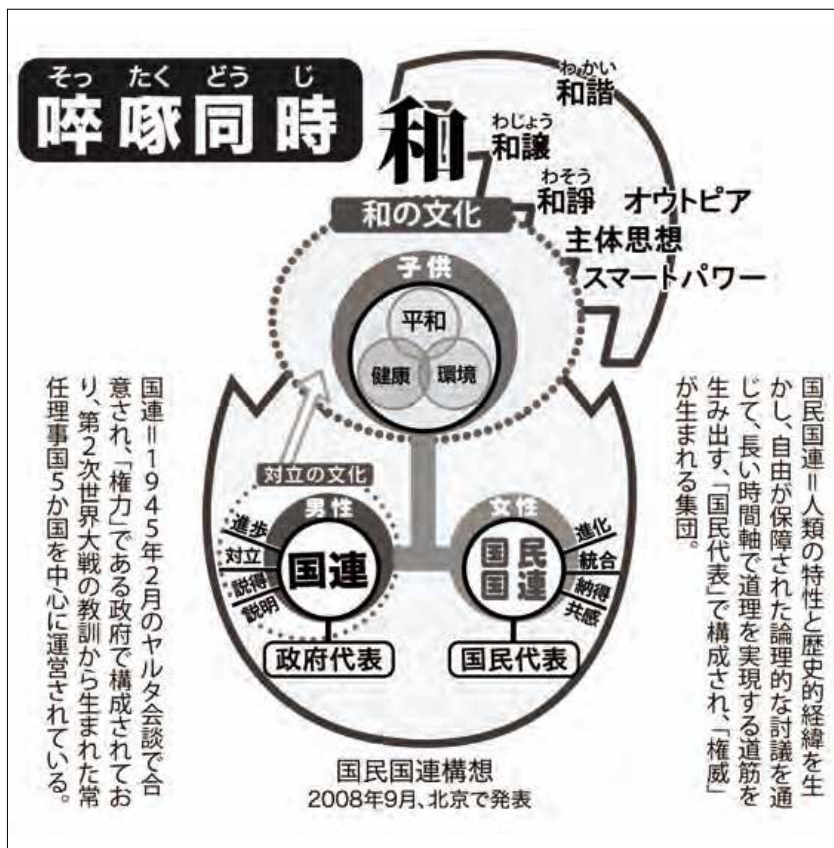
「和の文化」研究会が2016年1月に発足しました。新華社世界問題研究センターの張可喜研究員をはじめとする12名の学識研究者と北京市朝陽区中小企業市場発展商会(会員数200社)で、定期的に会合が行われ、当社が編纂した「経営理念手帳」中国語版を人民東方出版伝媒から発行する準備が進められています。

日本は、1945年8月15日のポツダム宣言受諾、無条件降伏をラジオで国民に知らせた昭和天皇の放送日を終戦記念日と定めています。人間自然科学研究所はこの「終戦」という言葉を「戦争の終焉

紀念中国全民族抗戰爆發80周年國際二戰博物館館長論壇
The Forum for Curators of International WWII Museums on Commemorating the 80th Anniversary of the Outbreak of the War of Chinese People's Resistance Against Japanese Aggression
Международный Форум директоров музеев Второй мировой войны, посвященный 80-летию с момента начала полномасштабной антияпонской войны китайского народа



中国全民族抗戰勃發80周年&國際二戰博物館館長フォーラム集合写真(前列右から2人目が磯江公博氏)



理想日本国民の定義 日本国籍を有し「人類究極の平和(人類永遠の才能の開花)を追求する」を国是とすることに賛同・支援・目指す人

の先がけを務める」と再定義。25年の活動から生まれた構想、提言をこの度の式典を機に、北京から世界へ向けて発表させていただきます。

第一は、沖縄において、人間の才能が次々に開花し、人類の未来が拓けるきっかけを提供する施設として「国際平和センター」を創設、「世界恒久平和発祥の島」とする提案です。

1879年、明治政府の琉球処分により日本に併合され、500

年続いた琉球王国が減じ、沖縄県になりました。これが、日本の植民地政策の始まりで、以後、台湾、朝鮮半島、満州、北方四島など、次々に領土を拡大してきました。

沖縄は「出会えば兄弟」という言葉があるように「平和の島」でしたが、太平洋戦争末期の沖縄戦では約20万人が犠牲となり、「被害の島」になりました。第2次世界大戦末期の日本本土爆撃、その後朝鮮半島、ベトナム、イラク等への米軍前線基地として「加害の



中国人民抗日战争纪念馆

島」という側面も持つようになりました。このような沖縄の人類史的・地政学的な意味を研究する中から次の構想が生まれました。

①世界中から近代の戦争の全戦没者電子データを受けとめ、永遠に記録、閲覧できる「メモリアルセンター」。

②情報通信技術（ICT・IoT）で世界の戦争・平和博物館のネットワークを構築。各施設の資料と写真映像をリアルタイムをもつて総合的に学ぶことができ、世界の戦争・平和博物館への案内役を務め、新たな智を生み出す「世界戦争平和映像センター」。

これを3年後に返還が決定している那覇空港隣接地に建設する構



小松昭夫理事長の挨拶を代読する磯江公博氏

想です。

「映像センター」構想については、南京大屠殺記念館の朱成山名誉館長より「喜んで協力します」というお言葉を頂戴しております。

長い人類の営みから北極海の氷が溶け、北極海航路が拓ける可能性が生まれています。このたび習近平総書記は「一带一路」構想を提唱されました。沖縄とその近海、竹島(独島)・日本海に象徴される対立の地域から、「一带一路」構想がさらに進化し、アジア・ヨーロッパ・アメリカ大陸が結ばれる「世界縁結び 平和の特別聖地」となる可能性が見えています。

朝鮮半島と日本列島は、国土が広く、物理的に先制核攻撃をしな

い事が宣言できる、米国・露国・中国の3大核大国の勢力が拮抗する結節点に位置します。韓国、共和国と日本は、人権・歴史・領土問題などが複雑に絡まり抑制された対立が続いています。この対立こそ、核廃絶、世界恒久平和の入り口であると確信しています。

第二は、3大核大国と世界の国々の賛同を得て、共和国の核放棄と世界すべての核保有国の核放棄を同時に実行、放棄された核兵器はすべて3大核大国に移管、朝鮮半島と日本列島の非核化を実現する。

3大核大国は段階的に核削減し大国の人類史的な責任を果たす、という提言です。これを打ち出すことにより、3大核大国は大国としての国家の核心が生まれます。

第三の提案は、国民国連の樹立です。

2008年、北京で開催された、学苑出版社(孟白社長)の『グローバル時代の人間学 中日韓英四カ国語による中国古典名言録』出版記念フォーラムで、「国民国連」の試案を発表しました。

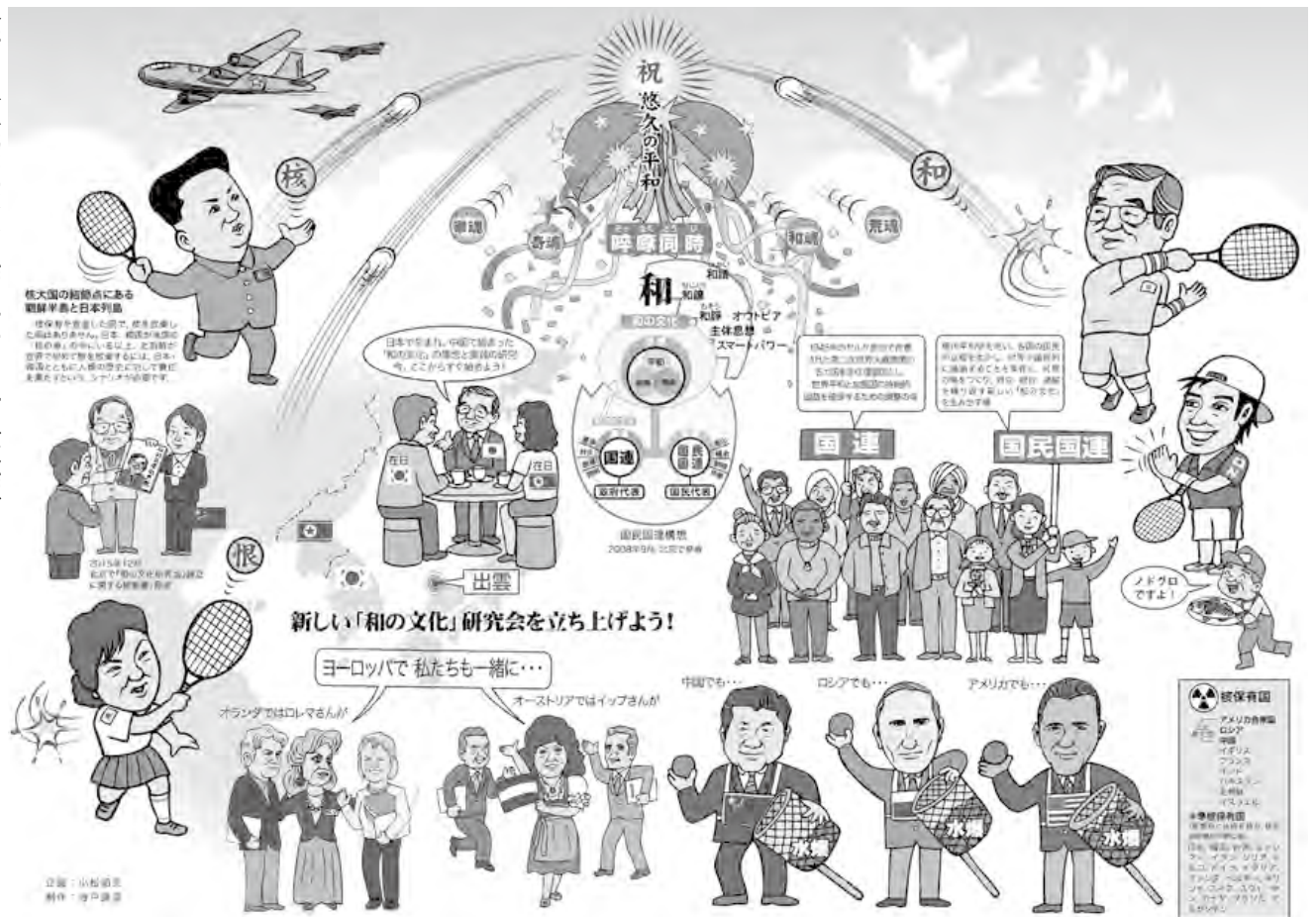
現在の「国連」は「権力」である政府で構成され、第二次世界大戦の教訓から生まれた常任理事国5か国を中心に運営されています。一方、新しく構想した「国民国連」は、人類の特性と歴史的経緯を生

かし、論理的討議を通じて、長い時間軸で道理を実現する道筋を生み出す、「国民代表」で構成され「権威」が生まれる集団です。その発祥の地を沖繩に置きます。

混乱する世界を輝かしい未来に導く「国民国連」の樹立が喫緊の課題です。

以上、3つの案を、国際二戦博物館館長会議で知っていたら、この構想・提言が世界に広がり、議論が進み、国連の場で承認が得られる流れが生まれることを念じています。

〈2017年7月8日、国際二戦博物館協会主催の「中国全民族抗戦勃発80周年記念&国際二戦博物館館長フォーラム」が、世界の第二次世界大戦記念館関係者69名の参加で、北京のホテル・世紀金源大飯店で開催された。小松昭夫理事長は、主催者代表の中国人民抗日戦争記念館・李宗遠館長より、「来賓」として特別招待されたが、入院のため出席できず、磯江公博氏(人間自然科学研究所監事・株式会社エナテクス常務取締役)が名代として出席、この文章(一部加筆)を代読した。フォーラムの締めくくりに行われたスピーチが終わると、その日一番の大きな拍手が会場を満ちし、演壇を下りた磯江氏に、何人もの参加者が握手を求めた。〉



企画：小松昭夫、制作：寺戸良信(遺作)
「ゆう科学通信」第27号(2016年2月10日)にて発表



ハルバート博士追悼式典・満席の会場

人類史における究極の「戦前責任」を問われる

ホームー・ハルバート博士68周年追悼式にあたり、ご挨拶の機会をいただき、感謝申し上げます。

私は2014年3月、安重根義士殉国104周年の記念式典で、孫黄恩珠氏、曾孫安寶榮氏の前で「安重根義士は、民族の英雄に止まらず、人類の英雄にすべきである」と申し上げ、参列者の熱烈な賛同を得ました。その安義士に「韓国人であれば一日も忘れてはなら

ない人物」と言わしめたのが、米国人ハルバート博士だとお聞きしています。

博士が大韓民国(韓国)で活動された19世紀末から20世紀初頭は、人類史的な激動の時代で、1914年に人類初の総力戦第一次世界大戦がヨーロッパで勃発しま

した。日本は国策を誤り薩長土肥と公家が合体し、権威と権力を統合。1872年〜1879年の琉球処分を経て中央集権国家を誕生させ、覇道の道を進むようになりまし。その後日清戦争を経て台湾を併合、中国に侵攻しました。日露戦争後の1905年乙巳(ウルサ)条約(第二次日韓協約)によって韓国の外交権を奪い、1910年に韓国を併合しました。世界列強に向けて、韓国の自主独立を主張するため、博士は1907年、第2回ハーグ平和会議に特使を送ることを発案されました。

その特使のひとり李儁烈士が客死されたオランダ・ハーグのホテルが、記念館になっています。2

012年、李儁記念館を訪問し、私と特別の縁のある安義士の遺墨「獨立」のレプリカを展示しました。

この第2回ハーグ平和会議の出席者の中に、オーストリアのベルタ・フォン・ズットナーがいました。ズットナーは1889年、ベストセラー小説『武器を捨てよ!』、1912年、論文『空の野蛮化』を発表、戦争阻止を世界に訴え、国際的な平和活動を展開、1905年に女性初のノーベル平和賞を受賞しました。

2013年、米国のアンドリュース・カーネギーの寄付でハーグ市に建設された「平和宮(現国際司法裁判所)」100周年記念事業のひとつとして、「世界の平和フィランソロピスト20人」展が行われ、私もそのひとり選ばれ、パネル展示されました。その開会式に合わせて、ズットナー胸像の除幕式が行われ、胸像制作者であるオランダの彫刻家イングリッド・ロレマ氏と出会い、そのお人柄と深遠な念いの伝わる像に魅了され、カーネギー財団の賛同を得て、2体のズットナー像を制作していただきました。ズットナー像が「特別の平和使節」として世界を回り、その志が現代によみがえり、確かに平和への流れが始まることを願

っています。



小松昭夫理事長の追悼文を代読するコマツアコリアの尹熙竣理事

っています。

韓国独立運動にまい進されたハルバート博士は「韓国人より韓国を愛した、韓国の永遠の友」とも言われており、韓国の文化を世界に広める役割も果たされました。同時代の19世紀末、ギリシャ生まれのアイランド人作家ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が日本島根県松江市で教鞭をとり、欧米に初めて本格的に日本文化を紹介しました。今、ハーンの異文化に心を開く「オープンマインド」を評価する機運が高まっています。ハーンは、日清戦争後の日本の風潮に、こう警告を発しました。「おそらく、日本の将来の危機は、実



2014年11月「八雲立つ日本・出雲から陽が昇る」シンポジウムにて、ズットナー像の除幕。
像左イングリッド・ロレマ氏、像右小松昭夫理事長。

にこの途方もない、大きな自負心にあるといえるだろう」(『心』1896年)。このハーソンの指摘どおり日本は道を誤り、貴国に大きな災難を与えました。「戦後責任」を果たす立場の日本人の一人として、心より謝罪を申し上げます。

今、世界は第一次世界大戦前の状況と酷似しているとの指摘があ

ります。

人間自然科学研究所は、1997年から世界の戦争・平和記念館を訪問、学習・献花・寄付を行うなどの活動を続け、紛争・戦争に至る背景と経緯と実態を研究、「戦前責任」「戦中責任」「戦後責任」の3つに分けて考察してきました。

今のままでは、日本、韓国、朝鮮民主主義人民共和国(共和

国)、そしてアメリカ合衆国(米国)・ロシア連邦(露国)・中華人民共和国(中国)の3大核大国の指導者は勿論、国民一人ひとりが、人類史における究極の「戦前責任」を問われる立場になります。

加害の歴史を持つ日本国民が声をかけ、被害の歴史を持つ共和国、韓国に語り、この地域に本質的な影響力を持っている米国・露国・中国の

賛同を得て世界の期待を担う平和事業を興すことにより、「対立の文化から共生の文化」への転換を促し、朝鮮半島と日本列島から世界恒久平和への流れを起すことが熱望されています。

最後に、本日、このような機会をいただきましたハルバート博士記念事業会の金東珍会長様、金会長の紹介いただいた『英雄』誌の林昌宰社長様に厚く御礼を申し上げます。

〈2017年8月11日、「ホームー・ハルバート博士68周忌追悼式」が、韓国ソウル麻浦区合井洞所在の楊花津外国人宣教師廟院にて開催された。主催の社団法人ハルバ

第二次世界大戦における死者数

国別	軍人	市民	計(単位万人)
日本	230	80	310
ドイツ	325	335	660
オーストリア	26	12	38
イタリア	39	21	60
その他	163		
枢軸国			
合計			1231
ソ連	1360	700	2060
中国	350	971	1321
ポーランド	24	560	584
ユーゴスラビア	45	58	103
フランス	15	25	40
イギリス	38	7	45
アメリカ	41		41
その他	78		
連合国			
合計			4272

<『一九九五年八月十五日に』(朝日新聞社)などより>

■アジア・太平洋各国の死者数(上記の国を除く・単位万人)

朝鮮:20、台湾:3、フィリピン:111、ベトナム:200、ビルマ:5、マレーシア・シンガポール:10、インドネシア:400、インド:150、オーストラリア:2.3、ニュージーランド:1.2

<『日本の侵略と膨張』(吉岡吉典・新日本出版社)などより>

ト博士記念事業会より小松昭夫理事長に招待状が届いたが、入院のため出席できず、コマツコリアの尹熙竣理事が名代として出席、この追悼文(二部加筆)を代読。尹氏は「式典で挨拶された6名の中、一番長い文書でしたが、皆さんが真剣に耳を傾けてくださり、読み終えた後には、多くの拍手を頂きました。席に戻ると『素晴らしい文書でした』、『まさに戦前責任が問われるタイミングです』と声を掛けてくださいました。中でも、「文化遺産国民信託」の金宗圭理事長が強い関心を示され、小松理事長と面会する流れができました」と報告している。

◆追悼

大田昌秀元沖縄県知事・ 沖縄国際平和研究所理事長

(2017年6月12日、逝去。92歳)

故大田昌秀元沖縄県知事県民葬実行委員会実行委員長・翁長雄志様より、2017年7月26日(水)午後2時から沖縄コンベンションセンターで開催される、「故大田昌秀元沖縄県知事県民葬」のご案内を頂き誠に有難うございました。

大田元知事との特別な出会いに心より感謝申し上げるとともに、ご遺族、沖縄県民、関係者の皆様にご丁寧に哀悼の誠を捧げます。



沖縄「平和の要塞」(元米軍核ミサイル基地跡)

ヨーロッパから始まった世界の植民地争奪戦は、イギリスで起こった産業革命により加速し、ヨーロッパ諸国のアジアへの進出に拍車がかかりました。

アヘン戦争により香港はイギリス領となり、清国内には列強の租借地が生まれ、国内は混乱状態になりま。した。これを見た日本は国策を誤り、孫文先生が希望された王道ではなく、薩長土肥と公家が合体し明治政府を樹立、覇道の道を進むようになりました。

1872(1879年、日本は琉球王朝を併合する琉球処分を経て、権威と権力を統合し、中央集権国家を誕生させました。その後、台湾・朝鮮半島・北方諸島等、政略と軍事力により次々に領土を拡大し、日清戦争後、小泉八雲が「おそろく、日本の将来の危機は、実にこの途方もない、大きな自負心にあるともいえるだろう」(『心』1896年)と指摘した通りの状況に至り、今、グローバル社会の中で日本建国以来の困難な状況を迎えています。

大田先生は敗戦間際の1945年、19歳にして鉄血勤皇師範隊に召集され、敗戦。戦後は、アメリカ施政下の時代に早稲田大学、アメリカ留学を経て、琉球大

学教授に就任。沖縄日本復帰後の1990年沖縄県知事に就任され、2001年より参議院議員も務められました。大田平和総合研究所、NPO法人沖縄国際平和研究所を設立され、沖縄・アメリカ・日本本土の平和の架け橋として比類なき功績を遺されました。

晩年、人間自然科学研究所との交流が深まり、特別な念いを承りました。

お見舞いにかがう予定でしたが、容態が急変され、告別式に参列することになってしまいました。

私は、先生のご生前に沖縄の聖地・渡嘉敷島、告別式の後日に第一尚氏始祖の生地・伊平屋島、第二尚氏始祖の生地・伊是名島を訪ねました。



渡嘉敷島集団自決跡地で献花

伊平屋島は、終戦を告げる天皇の放送の4時間後に宇垣纏(まとも)中将の命令で、鳥取県美保基地で特攻訓練教官を務めていた中津留達雄大尉を隊長に最新鋭の戦闘機彗星11機で出撃(宇垣中将同乗)、米軍がかがり火を焚き戦勝祝いをしている目の前の岩礁に激突し死亡された特別な島である事は、城山三郎著「指揮官たちの特攻」と、NHKの終戦ドラマで知られるようになりました。

沖縄での最近の活動と、2017年5月8日のハワイ・アリゾナ記念館、2017年7月8日の北京・盧溝橋記念館での活動報告をホームページ <http://www.hns.or.jp> に記載し、御霊前に謹んでご報告させていただきます。安らかに眠りください。



大田昌秀元沖縄県知事を囲んで
(右から2人目太田元知事、左小松理事長)

人間自然科学研究所

平和事業の縁

—活動の軌跡—

えにし

人間自然科学研究所は、1988年、鳥根県商工会連合会の若手経営者25名が小松電機産業創業の地に集まって結成された「知革塾」から始まった。25年にわたり、生命・人類の本質・特性を探り、日本語の再定義を行い、「楽しく持続的に生きられる地球社会」への道筋を論理的に考察・提案・試行錯誤を繰返し、結果を出し続ける「リンク&ドウタンク」として活動、今日に至っている。

地球最大のユーラシア大陸の東端、日本海・東海を隔てた朝鮮半島の対岸に位置し、地球最大の太平洋に臨む島国日本の、究極の困難な状況を受け止め、経営理念手帳を創り上げた。

1994年から20回に及ぶ国際シンポジウムを開催、1997年、大韓民国(韓国)の独立記念館を皮切りに、世界の戦争・平和記念館を訪問、学習・献花・寄付を行う活動を続け、その「縁(えにし)」は、国内各地はもとより、中華人

人民共和国(中国)、韓国をはじめとするアジア諸国、アメリカ合衆国(米国)、ロシア連邦(露国)、オーストラリアさらにはオランダ、オーストリアなど欧州諸国に広がっている。

これまでの主な活動を紹介する。

燕趙園

1995年鳥取県と中国河北省の友好のシンボルとして建設された日本最大級の本格的な中国庭園「燕趙(えんちよう)園」が鳥取県中



2003年10月燕趙園銅像除幕式

部の湯梨浜町に建設されている。ここには、研究所が寄贈した孔子・孟子・孫子像が建立されている。

孔子・孟子像は、出雲(松江市)の水の偉人・周藤彌兵衛翁、清原太兵衛翁の像と共に、中国山東省棗荘(そうそう)市で制作したものである。棗荘市は、鳥根県の斐伊川から東、鳥取県の天神川から西の地域の出身者で編成された、陸軍の松江63連隊に多数の戦没者が出た「台兒莊(たいじそう)の戦い」(1938年)の戦場となった地である。日中国交正常化30周年にあたる2002年、棗荘市で、中国側3000人、日本側40人が参列して、この4体の銅像の完成式が行われた。

2007年に建立された日本唯一の孫子像は、小松昭夫理事長が中国山東省東栄市から「現代経営学と孫子」講演記念としていただき、鳥取県に贈呈。

株式会社ユーキャンはCD「孫子」入門(守屋淳)発売に合わせ、この像を元に立像置物を制作した。

さらに、研究所の仲介で、中国伝説の女仙・西王母と八仙人の大理石像(日本の七福神の祖・内海弘子氏寄贈)が建立されている。これらの像はいずれも、当時の

片山善博知事、平井伸治副知事の積極的な指示で建立、中国から中国画報協会会長の邢雁先生、中日民間文化交流センター主任・張碧清先生をお迎えし、除幕式を行った。

ハワイ

2005年12月、ハワイ「アリゾナ記念館」で行われた真珠湾攻撃記念式典に団長小松理事長、ばばこういち氏他40名が出席、ジョージ・E・サリバン理事長の特別の計らいによって、日本の民間人、初の公式献花と寄付を行った。

アリゾナ記念館は、日本軍の真珠湾攻撃で沈没した戦艦アリゾナの真上に建設されているもので、乗組員を追悼するとともに、真珠湾攻撃自体を「永遠に忘れないための施設」となっている。

2017年6月、研究所は再び、アリゾナ記念館に39名の訪問団を送った。

団長の小松電機産業株式会社小松光雄常務取締役が、「東洋・西洋両文明の恩恵を受けた私たちの世代が、核と情報インフラを背景にした究極の対立から、『和譲』を入口に共生の文化誕生を促し、人類進化への道筋をつけたい」と念をさせて頂きます」と、趣意書を讀み上げた。

特別企画・企業探訪



2005年ハワイ・アリゾナ記念館公式献花



ハワイ・2017年アリゾナ記念館訪問



ハワイ・車椅子同士で



ロシア・2009年9月ハバロフスク第二次世界大戦慰霊碑に献花



ロシア・2009年9月ウラジオストク日本人死亡者慰霊碑参拝



ロシア・2009年9月戦争体験者との意見交換会

セレモニーのハイライトは、共に車椅子に乗った、94歳の小松千恵子名誉団長と、97歳の真珠湾攻撃の体験者アルフレッド・K・ロドリゲス氏の握手。お二人の握手には、「歴史」「謝罪」「寛容」そして「あの一日を忘れない」など、いくつもの重い言葉がこめられているが、「共生」の萌芽も感じられ、会場を静かな感動が満ちた。

ロシア

2009年9月、第二次世界大戦で2000万人が亡くなったロシアに、22名の訪問団を派遣した。ハバロフスク第二次世界大戦慰霊碑、ウラジオストク第二次世界大戦慰霊碑に献花したのち、日本人死亡者慰霊碑を参拝した。

また、訪問団はウラジオストク市内で戦争体験者4名と懇談した。いずれも、第二次世界大戦中

に気象専門家として軍務についていた方々。その中で、戦時中サハリンに住んでいた女性のエレーネさんが、日本人引揚げを目撃した体験談を披露するなど、活発な意見交換が行われた。小松理事長は「ハワイとロシアのプロジェクトの実現は、農協観の光島根支店・永島邦子氏の努力によるものである。感謝に堪えない」と語る。

久司マクロ ビオティックス

2006年11月、出雲大社社務所大ホールで、マクロビオティックス自然食の大家・久司道夫氏と、エリーコーヘン・イスラエル日本大使を招き、「神有月 和譲平和フォーラム」を開催。

久司氏は、世界政府運動の桜沢如一氏の影響を受け、1949年

渡米。人類の平和のために、「バランスのとれた食」の重要性に着目、久司マクロビオティックスを確立した。50年にわたって、米国ボストンを拠点に世界的規模で教育普及活動に取り組み、自然食ブームを巻き起こした。ジョンレノン、マドンナなど多くの著名人に食事指導をしてきたことでも知られる。1999年、日本人で初めて、米国スミソニアン国立博物館に殿堂入りし、「久司マクロビオティックスコレクション」が永久保存された。

2009年、共に自然食の普及と教育啓蒙活動に努めた、久司アヴェリーヌ偕子夫人（島根県奥出雲町横田出身）の顕彰碑が建立された。

周藤彌兵衛兵翁と 日吉切通し、御陵

今から300年前（江戸時代）に、出雲国日吉村（現在の島根県松江市八雲町）の周藤彌兵衛翁は、繰り返される意宇川の洪水から村を守るため、56歳で一念発起、97歳まで42年かけて霊山剣山の硬い安山岩を開削し、切通しを完成させ、102歳で大往生を遂げた。現場に残るノミの跡が今日まで人々に感動を与え続け、翁の不屈の志と生き方は現代に生きる私たちに勇気と愛、平和の大切さを伝えていく。

研究所は活動の第一歩として、1995年、彌兵衛翁を顕彰する小説・児童文学・漫画、朗読テープを発刊、シンポジウムを開催した。

そして、2014年、水循環基本法成立後初の「水の日」8月1日に、八雲町の意宇川のほとりで、彌兵衛翁の巨大銅像（高さ2.7



「神有月 和讓平和フォーラム」で講演する久司道夫氏



アヴェリーヌ偕子夫人顕彰碑(鳥根県奥出雲町横田)



日吉切通し



周藤彌衛兵翁像

m、幅2.8m、奥行1.7m、重さ1.3t)の除幕式を行った。

この銅像は、2002年に制作された翁の像と同じく、日中双方に多大な犠牲者が出た「台児荘の戦い」の戦場となった、中国山東省棗荘市の劉成啓氏に制作を依頼したものである(デザインは鳥根県飯南町出身の画家・高田勲氏)。「八雲から北東アジアそして世界の恒久平和を生み出すきっかけにする」ことを念じて、彌兵衛翁像が建立された地は、かつて村人たちが戦地に赴く兵士を見送った場所。

また、その意宇川対岸には、地元の人が「御陵」と呼ぶ「岩坂陵墓参考地」がある。これは、神話上の「日本の国生みの祖」イザナミ

ノミコトのお墓とされている。

全国十数か所のイザナミ御神陵伝説地の中から、明治33年(1900年)、宮内省が「保存すべきものと認定、陵墓伝説地に指定」したものである。現在、陵墓参考地として、宮内庁が管理している。また近くには、現存する日本最古の大社造りの国宝、イザナギ・イザナミを祭った神魂(かもす)神社がある。

太古から現在・未来を貫く「時の流れ」、受け継がれる人々の念(おもい)、そして絶えることのない「意宇川の流れ」——そこには、まさに「悠久の河」が流れている。ズットナー像の制作者ロレマ氏が小松理事長に、スイス・アルプス山脈を源流とするヨーロッパの

「悠久の河」ライン川下流で咲いたスノードロップの球根を託し、これが意宇川の畔で育てられ、「平和の花スノードロップ」プロジェクトが始まっている。

諸侯や司教の「社会インフラ・ライン川」通行税の徴収が、中世から近代への移行のきっかけとなったように、今日の世界規模での「社会インフラの情報・金融」への富の過度の集中が、時代の劇的な変化を予想させる。

八雲立つ日本・出雲から陽が昇る!

「国民国連」構想具現化の時を迎えた

2015年、江戸時代初期建造

の天守が現存する松江城が国宝に指定された。

北側のお堀端には、小泉八雲記念館・旧居、田部美術館、武家屋敷、八雲庵、鳥根県知事公舎、石垣(岐阜県産恵那石)の上に建てられた、小松電機産業迎賓館(数寄屋造り)、県警本部長公舎、明々庵へと続き、その通りは「塩見縄手」と呼ばれ、日本の道100選に選ばれている。

久司道夫夫妻は、ここを拠点に8年間の日本での活動を始め、その後、小松理事長が松江市内の拠点にしているが、一度も門札を掲げたことはないという。

小松理事長は、この一帯を「国民国連発祥の地」にする、究極の地方創生構想発表の準備をしてき

特別企画・企業探訪



イザナミ御陵(岩坂陵墓参考地)

た。出雲を拠点に、世界恒久平和のプラットフォーム構築の一翼を担い、世界規模に拡大した平和事業の「縁(えにし)」を活かし、「国民国連」の旗を高く掲げようというのだ。

小泉八雲記念館の館長は、八雲の曾孫の小泉凡氏。島根県立大学教授、人間自然科学研究所の評議員も務める。「凡」という名前は、映画「終戦のエンペラー」で知られる、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)のダグラス・マッカーサー元帥に副官として仕えたポナー・フェラーズ准将の「ポナー」にあやかっつけられたという。フェラーズは、凡氏の祖父、八雲の長男・一雄氏と親交があった。大学時代から八雲の著作を愛読し



国民国連発祥記念館構想_松江市「塩見縄手」一帯

ていたフェラーズの日本への理解は八雲に負っていたと言われている。昭和天皇を極東軍事裁判にかけるべきでないと言ったのがフェラーズである。

欧米に、初めて日本文化を本格的に紹介した小泉八雲は、この「塩見縄手」の一角から日本での活動をスタートさせた。世界に向けて、「国民国連」の旗を掲げるのに最もふさわしく、研究所が掲げる「八雲立つ日本・出雲から陽が昇る」を端的に示す「聖地」になると言える。

小松理事長は今、「加害国で人類初の広島・長崎への原爆投下による敗戦国の立場を受け止め、世界人類の未来を拓く役割を果たす時が来た」という。この構想に賛



2014年ウィーン平和記念館・ズットナー像貸出し除幕式

同、現実化を目指す政党的誕生が待たれる。2009年、北京オリピックを記念して3000年の中国の叡智の中から、「平和・環境・健康」に的を絞り、巻頭に出雲大社宮司の『幸魂・奇魂』の書をいただいた、『中国古典名言録(中日・韓英4カ国語)』を出版している。『対立から共生へー小松昭夫の「和の文化」の理念と実践』(張可喜・魏亜玲共著)に続き、2018年1月、京セラの稲盛和夫氏の書籍を出版し、300万部を販売した人民東方出版伝媒有限公司(王麗娜氏担当)から小松電機産業の『経営理念手帳』と『経営の道』が発刊される。今までの活動で生まれたネットワークと、研究所の提唱する平和事業が「究極のイノベーション

を起こし、新しい3本柱が確立することを確信しています。共和国による島根県・広島県・高知県の上空通過予告、中国にとって175年前の屈辱の地・福建省アモイ市で、ロシアのプーチン大統領も出席して開催された、新興5カ国(BRICS)首脳会議での「一帯一路構想」発表に合わせた共和国の水爆実験、島根県出身の竹下亘・自民党総務会長の広島での発言で、世界的に島根への注目が高まり、「この地から国民国連構想を発表する時が来た」と語る。

小松理事長は2014年6月、オーストリア・ウィーンで開かれたベルタ・フォン・ズットナー女史没後100周年記念セレモニーにおいて、日独英の3カ国語で「成果(結果)⇨考え方(一⇨0⇨+∞)×熱意(0⇨100)×能力(0⇨100)」という演題で講演し、第1号ズットナー賞を受けた。これは、稲盛和夫氏の人生方程式(考え方が「100⇨100」になっている)、スマートフォンの爆発的普及、国際分業の進展、世界最大福島原発事故、日本最大出力島根原発3号機完成、朝鮮半島危機の深刻化をきっかけに、究極の当事者意識の覚醒から確立されたものである。国民国連構想が生まれ

2017年9月10日 22:14 本澤二郎

近来にないヒット作品！

製造メーカーが、平和事業を組み込んでいる共生ビジネスは、恐らく日本のみならず世界的に稀有なことだと思いますが、そうした流れがよく浮き彫りにされた特集企画だと思います。「財界につぼん」にとっても、初めての企画特集のはずです。しかも、小松電機の国際化を印象付けた内容ですよ。第二の小松電機の誕生を予想させます。また、こうした雑誌編集にしても、前例がありませんし、話題を呼ぶと思います。名刺代わりに最適ですね。思索する小松さんの執念の賜物です。

2017年9月12日 11:15 本澤二郎

見事な文章と構成に脱帽です。日本の企業のあるべき姿を象徴する実績と成果に敬意を表します。

平和産業かくあるべし、戦争屋・死の証人の財閥、東芝・三菱の衰退を裏付ける素晴らしい成果を、日本と世界に伝える内容にも感謝します。

実に時宜を得た企画だったと自画自賛したいです。

交易場・岡部ご二人に対して、本当にご苦労様と言わせてもらいます。

あとは、これの有効活用が期待されます。それにしても、よく頑張った小松さんの、時代を見抜いた事業と平和運動でした。あとに続く起業家を期待したいものですね。

2017年9月12日 10:50 日本ビジネスインテリジェンス協会理事長 中川十郎

小松社長のすばらしい経営理念と平和構築構想に感銘を受けました。

BIS 会員 200 名にも社内限りで回章しました。

原発禁止運動への御寄附深謝申し上げます。

よろしくお礼をお伝え下さい。

2017年9月13日 11:38 島根大学名誉教授 中村新一郎

「財界日本」の特集記事をお送り頂き感謝です。このような総括記事が出たことは、今後の「小松昭夫研究」にとって画期的なことだと思います。ご苦労も多かったと思いますが、本当に良かったですね。おめでとうございます。

ピーター博士とロレマさんに短いメールを付けて、私から転送しておきました。

2017年9月13日 14:12 米子プリント社 難波会長

いつもお世話になります。

この号が出ると大反響でしょうね。

今の、危ない世界情勢に、ピッタリの解決策だと思います。

後で、ゆっくり読みます、ありがとうございました。

2017年9月16日 12:55 ピーター博士

メールと添付文書を有難うございました。

表紙を飾った小松社長の素晴らしい写真と、イラストや写真が沢山付いた長い特集記事を拝見して、大変嬉しく思いました。

特集に興味を持ちそうな日本人を知っていますので、彼らに転送してあげるつもりです。

小松さんに、私からの”おめでとう”をぜひお伝えください。手術の後、完全に快復なさっている、あるいは完全に快復なさりつつあることを願うのみです。

敬具

ピーター・バン・デン・デュンゲン

<原文>

Thank you very much for your mail, with attachment.

I was delighted to see Mr. Komatsu's beautiful photograph on the front cover of the magazine, and the long, illustrated article inside.

I will forward it to a number of Japanese friends who will appreciate also seeing this.

Please convey my congratulations and best regards to Mr. Komatsu; I hope he is fully recovered now, or well on the way.

With best wishes,

Peter van den Dungen

2017年9月17日 8:20 元スイス大使 村田光平

大変興味深く読ませていただきました。

提唱されるヴィジョンは縄文文明を源泉とする日本の和の母性文化に立脚するものであり、「国民国連」には力の父性文化に立脚する世界の主流（440基余の原発を容認）の変化を迫る姿勢が看守されます。破局に向かう現在の父性文明から母性文明への転換を訴えている立場から、小松社長のご健闘を心からお祈り致します。

2017年9月18日 13:45 イップ常子

ご連絡ありがとうございます。

財界につぼん 創刊 49 周年 11 月号を拝読させていただきました。

社長様の過去から現在に至るご活躍には本当に称賛いたします。

今後のご活動を楽しみに、増々のご発展をお祈りいたしております。

オーストリアの皇太子フランツ・フェルディナンドがサラエボで 1914 年に暗殺され、それが引き金となり、第一次世界大戦が勃発。しかしその暗殺の 1 週間前に「次の戦争は世界的に大きな戦争になる」と叫びながら、ウィーンで他界されたベルタ・フォン・ズットナー。来年は第一次世界大戦終結 100 周年です。その足跡を辿ってサラエボに来週から出かけます。

「戦争なき平和な世界を」と訴えたベルタ・フォン・ズットナー、「世界平和」と刻まれた広島被爆石がウィーン市 16 区の区役所前広場に今もそびえ、市民の心に何かを感動させるものが沸いている今日です。また今年にはマリア・テレージア生誕 300 年ですが、彼女は君主になってから、どうすれば国民を幸福にできるか。国民のために役立ちたい、人々に平和な楽しい人生を送ってもらいたい。世界を平和にしたいと心から願っていた君主です。そして、人間自然科学研究所では社会問題を経営資源に進化する「平和事業」まさに現在のマリア・テレージアのポリシーと思います。

11 月には上記の資料などをもとに是非「平和」をテーマとして講演させていただければと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

Ipp 常子

編集後記

★：今号では、「小松電機 産業・人間自然科学研究所の軌跡とポリシー」をテーマとする特別企画を取り上げた。奇しくも北朝鮮のミサイルが日本列島上空を通過し、北太平洋上に落下した8月29日に原稿が届いた。連日のテレビ報道などで国内外が騒然とする中、一読し、そ

こに書かれている人間自然科学研究所、小松昭夫理事長の平和事業構想と、これまでの活動が、世界平和を実現する上で、大きな意味を持つことを感じることができた。平和事業（人間自然科学研究所）を立ち上げた小松理事長は、「今日、朝鮮半島と日本列島にかつてないほど世界の目が集まっている。日本は韓国・北朝鮮と共に中国、露国、米国と念い

を合わせ、民間人が究極のミッション（使命）に立ち上がれる最高の時（天の時・地の利・人の和）を迎えている」と述べている。各国の利害の不一致により、世界が一触即発の事態に直面する中、25年にわたる活動から生まれた構想、平和事業に向けての多くの提言は示唆に富み、その時代を透徹した考え方に敬意を払いたい。

★：また、先月号から掲載されている藤原肇フリーランス・ジャーナリストによる特別寄稿「断末魔を迎えた安倍ゲシュタポ内閣の悪足掻き」も読者から反響を呼んでいる。今回は誌面の都合もあり、一部読者から寄せられたご意見を抜粋して紹介させていた。藤原肇氏の「安倍ゲシュタポ内閣」は、副題「ゲシュタポ政権」「官邸の力」に続く部分が、私には有益だった。萩生田光一は菅義偉に代わって政府スポークスマン

として表に出ることがあった。しかし、他の官房副長官、まして首相補佐官は私にとつて、もつと未知の連中である。これらの側近が歌舞伎の黒子以上の役割を果たしているはずだと想像はしても、藤原論文を参照にしない限り、実態の一部すら分からない（潮昭太 記者）。「大多数の善良なる日本国民が心に密かに抱いている欺瞞を氏独自のネットワークに依る調査で痛快に刻み込んだ文章に感嘆。日本政治を取り仕切る内閣官房組織が如何に戦前の秘密警察同様の強権公僕により構成されているかその体裁を赤裸々に明かした藤原氏の勇氣に拍手」（金井和徳）。今の安倍政権がおかしいとは国民の多くが薄々感じてはいるが、その実態は明らかにされないまま政府は闇に葬り去ろうとしている。それを看過してはならないことを痛感する。（KO）

社内白誌

★：深夜寝付かれないまま、戦前の歌謡曲が好きで聞いている。古い流行歌だから、好きなのではなく、詩、曲、それに歌手の三拍子がピッタリのケースが多く、それが当方の趣味に合っていることが多いようだ。

最近知ったのだが、大村能章のいわゆる「白本調」の作品群が大変気に入っている。主な作品でも「明治一代女」「お駒恋愛」「麦と兵隊」「野崎小唄」「旅笠道中」「お夏清十郎」「博多夜船」等々がとりあえずお気に入り曲だ。

♪逢いに来たかよ 松原越しにヨ 博多通りの アレサ夜船の 灯が見える 灯が見える
この歌は誰から教えられたのかハッキリ覚えていないが、最近一度聴いたら、完全に覚えていたのを知り、嬉しくなったことを最後に記しておきたい。（MK）

★：執筆は原稿用紙に書くという作業からキーボードを打つという作業になつてから久しい。紙文化はパソコンに代わり、データの世界に移ってきたが、その過程で目の老化という副作用を生んでいる。50代半ばまでの定期

検診で視力は右目が1.5、左目2.0で、もう1度お願いしますと言われ、結果が同じことで超人ですね！と皮肉られたこともある。ところが、還暦を過ぎてパソコンと睨めつこの日々が続く中、視力はもとより右目の視界が狭くなり、気になって眼科に診察してもらうと、緑内障の気があると診断された。定期的に検診を受け、パソコンは1時間作業したら15分は休むようにしなければ失明しますよ、と脅かされる頻度が増えている。それでは仕事にならないが、そろそろ潮時のサインなのか、と思う今日この頃だ。（KO）

◎読者の皆様からの情報・ご意見をファックスで24時間受け付けています。

明日の社会をクリエートする月刊経済誌

月刊 財界にっぽん 11月号

2017年10月1日発行 (第49巻第9号通巻578号)
編集兼発行人 川口雅三
発行所 財界にっぽん株式会社
本社 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-2 (武蔵野ビル)
TEL 03(5577-5018) FAX 03(5577-5019)
E-mail:kawaguchi@adagio.ocn.ne.jp

《定期購読のご案内》

- 年間購読ご希望の方は直接本社へお申込み下さい。
- 定期購読は下記の通りです。
1カ年10,080円 6カ月5,040円
- 定価840円(本体価格778円 送料78円)

印刷所 株式会社MBEジャパン

★乱丁落丁の場合はお取り替えいたします。

当社までお申出下さい

「100年も先のことは、わからない」
なんて言うのはやめよう。
そう決めました。

サントリーの天然水は、
森がおよそ20年以上もかけて
うみだす地下水。

この貴重な天然水を
未来の子どもたちへつなぐために
森を元気にしよう、と始めた
「天然水の森」プロジェクト。
100年先200年先を想う
サントリーの大事な仕事です。

「天然水の森」の最新情報など詳細を
ホームページでぜひご覧ください。

<http://suntory.jp/FOREST/>



サントリー
天然水の森
PROJECT.

月刊 財界につぼん

11月号 第四九卷第九号
通巻五七八号

トップレポート
昭和四五年五月二六日第三種郵便物認可
平成二九年十月一日発行

発行所 財界につぼん株式会社

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-2-5 森野ビル5018
定価八四〇円(本体七七八円) 千七百八円

平成29年10月1日発行